



第8回 肥満症総合治療セミナー

～肥満外科治療の原理と、それを支える総合的なチーム医療を学ぶ～

日時

2017年 **3月4日** (土) ～ **3月5日** (日)

※時刻や内容は変更される可能性があります。

場所

ウィシュトンホテル・ユーカリ

〒285-0858 千葉県佐倉市 ユーカリが丘 4丁目8-1 ※京成本線ユーカリが丘駅直結
TEL: 043-489-6111

当番世話人

龍野 一郎

(東邦大学医療センター佐倉病院 糖尿病内分泌代謝センター 教授)

岡住 慎一

(東邦大学医療センター佐倉病院 外科学講座 教授)

受講対象

外科医、内科医（勤務医、開業医問わず）、精神科・心療内科医、麻酔科、栄養士、看護師、臨床心理士、医療福祉士など肥満症治療に関わる医療従事者

受講料

<カード決済> 医師：31,500円（カード決済等手数料込）
医師以外：21,000円（カード決済等手数料込）
<銀行振込> 医師：30,000円（手数料別）
医師以外：20,000円（手数料別）

*ともに個室1泊宿泊代、夕食、朝食 懇親会代を含みます。
宿泊を希望されない方は事務局にご連絡ください。

申込方法

2016年10月11日(火)より受付開始

日本肥満症治療学会のホームページで受付を開始
→定員に達し次第締め切ります。

www.jsto.jp/information/index.php

※お申し込み後、事務局より詳細なご案内をさせていただきます。

定員

定員60名(先着順)



主催: 日本肥満症治療学会 教育委員会

運営事務局 日本肥満症治療学会事務局 (株式会社コンパス内)

TEL: 03-5840-6131 E-mail: infojsto.jp



第8回 肥満症総合治療セミナー

開催にあたって

肥満症、とくに高度肥満症の治療は難渋を極めます。肥満外科療法は大変有効な治療手段ですが、その効果を引き出し持続させるためには、安全・確実な手術技能の確立と共に、術前、周術期の管理のみならず、長期にわたる栄養・精神面へのサポートが必要です。それには、関連各科医師を中心に、栄養士、看護師、理学療法士、臨床心理士、ソーシャルワーカーが一体となったチーム医療が求められます。また、このサポート体制の根幹は、保存的内科治療とほとんど共通です。2014年にわが国でも腹腔鏡下スリーブ状胃切除術が保険収載され、需要の高まりとともにその整備が急がれます。

そこで実践的かつ参加型の内容で、第8回のセミナーを開催することに致しました。

肥満外科治療に取り組まれている方、また取り組もうと考えている方、さらに、高度肥満の総合的治療に興味のある方々、奮って御参加下さい。

龍野 一郎

東邦大学医療センター佐倉病院
糖尿病内分泌代謝センター 教授

岡住 慎一

東邦大学医療センター佐倉病院
外科学講座 教授

プログラム

※変更になる可能性があります

3月4日(土)

第1部：肥満症患者の病態と治療の基本

1. 肥満症の診断、病態、合併症について
2. 肥満症のチーム医療と、内科・外科治療の位置づけ
3. 肥満症食事療法の基本～フォーミュラ食を含めて～
4. 高度肥満患者に対する運動療法の工夫
5. 肥満症患者の心理行動特性の捉え方とその対処法

第2部：肥満外科治療の実際

1. 外科治療総論～術式、適応、効果など～
2. 肥満外科治療に必要な設備とチーム医療について
3. 肥満外科手術合併症とその対処方法について～周術期、術後管理のポイント～
4. 肥満外科手術の麻酔管理～とくに高度合併症を有する患者において～

第3部：肥満外科治療を支えるチーム体制

1. 術前減量プログラムと術後の長期 follow-up～内科の立場から～
2. 術前・術後の栄養管理～とくにリバウンド予防対策について～
3. 肥満外科治療チームにおける看護師の役割
4. サポートグループの重要性～ソーシャルワーカーの立場から～

第4部：イブニングセミナー

第5部：術前外来のロールプレイ

3月5日(日)

第6部：モーニングセミナー

第7部：Metabolic Surgeryへの期待

1. Metabolic Surgeryとは？～2型糖尿病に対する有効性と効果発現機序～
2. 糖尿病以外の疾患に対する Metabolic Surgeryの可能性(内科 vs 外科ディベート)

第8部：症例検討会～心理社会的重症例の手術適応について～

1. 精神科疾患を有する症例に対する手術適応の基本的な考え方
2. 症例検討

第9部：患者さんの気持ち(術後5年経過して)

第10部：ランチョンセミナー